

感染症発生動向調査事業等に関する検体

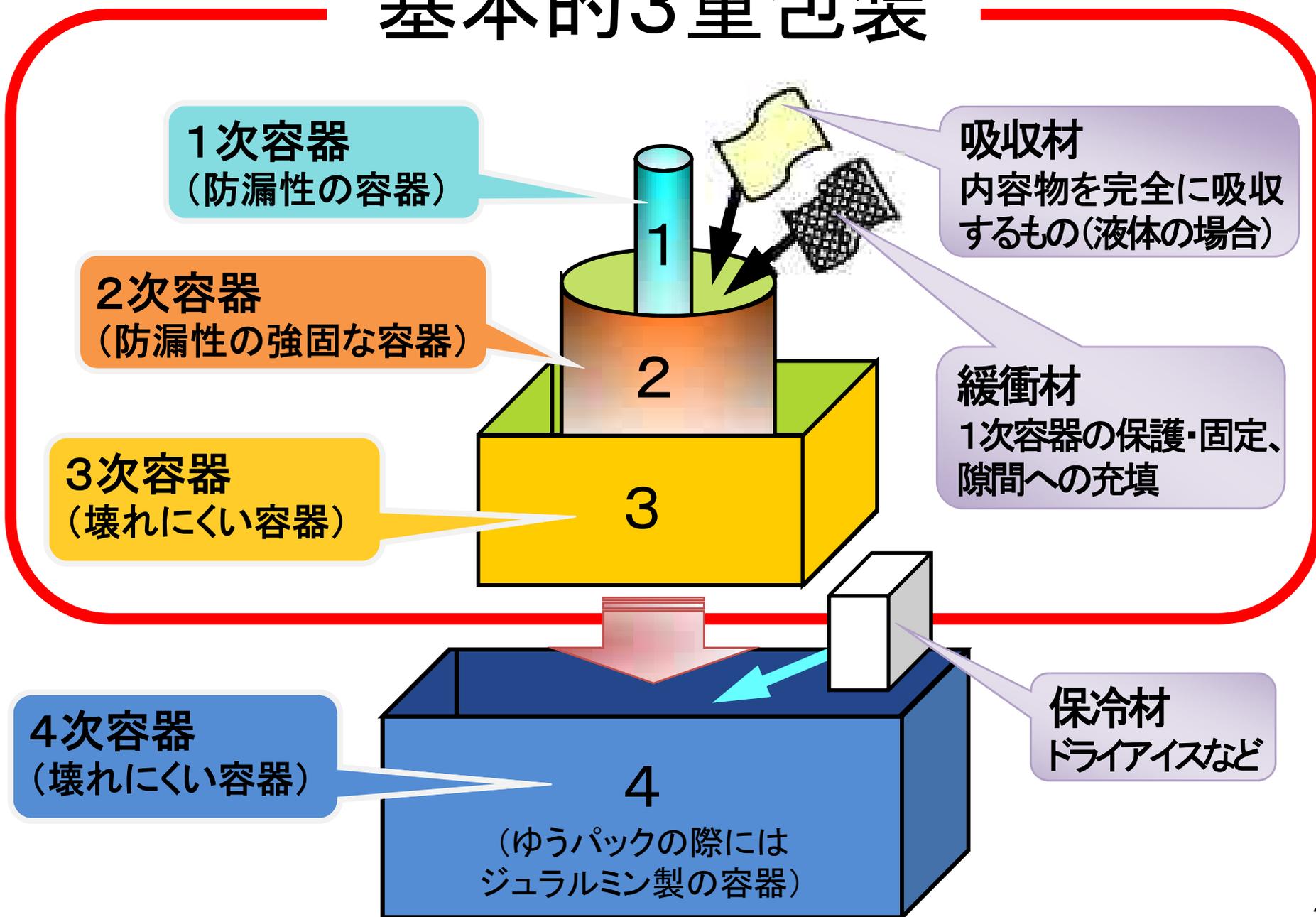
ゆうパック利用時の 梱包方法

国立感染症研究所

輸送者の違い

- ① 郵便： 郵便事業は公共のもの。
内国郵便約款に従う。
- ② ゆうパック： 民営化の結果、
完全な民間宅配業者。
ゆうパック約款に従う。

基本的3重包装



1次容器 (検体を入れる容器)



血液・血清等

喀痰・吐物等



咽頭スワブ



糞便等

- 検体の形状や特徴を考慮
- 耐水性、防漏性を有するもの
- ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン製のものが多い

1次容器の包装



1次容器は、

キャップが緩まないようパラフィルム等で固定するとともに、漏出防止のため、内容物を吸収するのに十分な量の吸収材で覆うこと。

2次容器 (1次容器からの万一の漏れに対応)

ボトルタイプ



パウチ袋タイプ



パウチ袋タイプは、ドライアイスが誤って中に入っていることが容易に確認できるなど、利便性が高いと考えられる。 **パウチ袋タイプは、お推め**

ヒューマンエラーの防止策

— 例：注意喚起のシールを貼る —



二次容器に添付する

パウチ袋タイプの二次容器も同様

〔遵守事項2(3)〕

2次容器への充填

ボトルタイプ



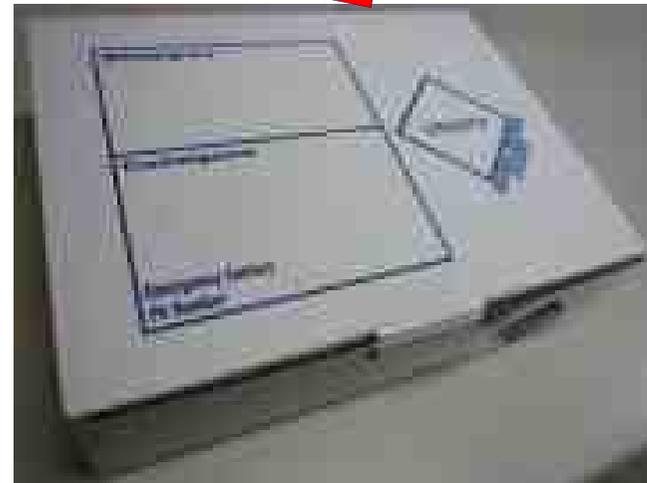
パウチ袋タイプ



2次容器は、

1次容器と必要な**吸収材**を入れて、
残った隙間には**緩衝材**を詰め、
ドライアイス等の誤混入の危険が
無いことを確認の上、密閉すること。

3次容器への充填



注意！ 2次容器と3次容器は、
指定された組み合わせで用いる。



ジュラルミン製4次容器への充填 保冷・凍結

基本的3重包装済みの梱包物

緩衝材

ジュラルミンケース

ドライアイス

ドライアイス等の保冷剤は3次容器と4次容器の間に入れる



ジュラルミン製4次容器への充填 常温

基本的3重包装済みの梱包物



緩衝材

ジュラルミンケース

ゆうパック送り状への記載 臨床検体＋ドライアイスの場合

© 大切なお荷物を、しっかりと丁寧にお届けします。

ゆうパック

1170-0085-9614

品名：
臨床検体、危険物

摘要：
ドライアイス在中
(ドライアイス使用時)

臨床検体、危険物

ドライアイス在中

品名：病原体の場合は 品名：病原体、危険物

病原体の場合は 品名：病原体、危険物

安全性適正包装確認済み ラベル

安全性適正包装確認済み

平成〇〇年〇〇月〇〇日

包装責任者： △△ △△

機関名： 〇〇衛生研究所

4次容器への表示

ゆうパック送り状

安全性適正包装
確認済みラベル

ジュラルミン製の
4次容器に
ゆうパック送り状
と梱包責任者の
確認済みのラベル
を貼る。



ご対応をよろしくお願いいたします

くれぐれも2次容器にドライアイスを入れないように！！